

3年生「横浜市民防災センター見学」

社会の「地域の安全を守る」の学習につなげて、防災センターの見学に行きました。施設では、地震体験や消火体験、災害が起こった時の行動の体験、新聞紙スリッパの製作をしました。子ども達の振り返りには、学んだ事がたくさん書かれていたので紹介します。

- 大きな地震の体験は、いろいろなものが落ちてくるので怖かったです。
- いざという時の行動を映像や体験から学ぶことができました。
- 新聞紙のスリッパが簡単に作れたので、お家でもやってみたいです。
- いつ起こるか分からない災害に備える必要があると思いました。



多くのことを学ぶことができた有意義な見学となりました。



6年生「歴史博物館見学」

社会の学習では、いよいよ江戸幕府が開かれ、盛り上がってきた子どもたち。そんな中6年生は、歴史博物館へ行ってきました。先土器時代と縄文時代の横浜の歴史がどのようなものだったのか、そしてどんな人が暮らしていたのかなど、実際に竪穴式住居に入り肌で感じ、学べたことで喜んでいました。

ソーシャルディスタンスを保ち、そして公共交通機関のマナーも守り、グループ活動を楽しみました。



「保健集会(放送にて)」

保健委員会では、今年どんな活動ができるのか話し合った時に、「感染予防のことを全校に伝えたい。」という意見が多く出ました。学校保健委員会の実施が難しい中でしたが、全校に手洗いやマスクの大切さを伝えることで、みんなが健康を守るために自分から進んでできる行動に結び付くと考えました。



今回の集会では、手洗いの効果について紙芝居にまとめました。15秒の手洗いで菌が何分の一にも減ることや、これを続けることで予防効果が高まることを「手洗いの天使」を登場させ、分かりやすく伝えました。

一人ひとりの意識の高まりが自分の身を守ることにつながるので、手洗いの取り組みを継続していきます



「クラブ活動」

新型コロナウイルスの影響で、開始が遅れましたが、10月からクラブ活動を行っています。待ちに待ったクラブ活動の開始に、子どもたちはとても嬉しそうな表情を浮かべていました。この状況の中で活動には制限がかかりますが、その中でも楽しめることを自分



たちで考えながら活動に取り組んでいます。6年生を中心として協力して活動する姿は、本当にたくましいです。

例年に比べて活動の回数も少なくなります。限られた時間の中で充実した活動ができるよう支援していきます。



菅田中ブロックは併設型小中一貫校

第3回みどりの大地協議会（学校運営協議会）を行いました

12月9日（水）に、第3回みどりの大地協議会（菅田中学校ブロック学校運営協議会）を開催しました。今回は、菅田小学校の授業参観と、前回の課題に対する説明、ブロック各校の取組に対する意見交換を行いました。前回に引き続き、参加していただいた方々から貴重なご意見をいただきました。今後の活動に生かしていきたいと思えます。

<委員の方からいただいたご意見>

- 地域に出て、幅の広い、柔軟性のある子どもを育てる活動をしている。感心した。
- 小学校で教科となった外国語の授業を今回見せていただいた。AETが英語での表現を見せ、中学の先生がそれをフォロー、担任が進行していて、三人が役割分担をしながら工夫していることが分かった。
- 統合を意識して子どもたちの交流に取り組んでいることがわかった。見ていてわくわくした。
- お互いへの感謝の気持ちを伝えながら、学校・家庭・地域が繋がっていくことが大切。
- コロナ禍でできないことを悔やむのではなく、制約がある中でできることを見つけていく。子どものアイデアを生かした、今だからこそできる取組を共有させてもらった。
- 今後に向けて、中学校との交流の仕方、ブロックで考えていく思いや願い等、参会した方々が学校に持ち帰り、各学校で検討したことをまた協議会にもってきて…という形ができる協議会にしていきたい。

<次回の予定>

- ・羽沢小学校での授業公開
- ・ロイロノート・スクールについての取組状況
- ・統合の向けての取組紹介

